

ドリフト低減に向け水稲用生育期散布剤・微粒剤Fの効果を検討

平成18年5月に施行されたポジティブリスト制度に伴い、周辺農作物に農薬が飛散しないように以前にも増してドリフト対策が重要となっています。水稲では、これまでのDL粉剤でも風向等でドリフトする可能性があるため、現在、DL粉剤に比べ大幅にドリフト軽減効果のある微粒剤Fが開発されつつあります。

そこで、当研究所では（社）日本植物防疫協会の委託試験として、水稲のいもち病及びウンカ類・ツマグロヨコバイに対する防除効果を検討するため、穂孕期の7月30日に微粒剤F及びDL粉剤の1回目の散布を行いました。

今後、出穂期に2回目の散布を行い、防除効果を調査する予定です。



微粒剤Fの散布状況



微粒剤Fの葉の付着状況



DL粉剤の散布・ドリフト状況